



JUN,2025 | VOL.109

ARMY

Active Reliance Morale Yearning

陸上自衛隊 部内広報誌

陸幕長ハイレベル交流
LFD SLS LANPAC

TOP

3月山林火災 災害派遣
部隊等新編

令和7年度 富士総合火力演習
ダルマ・ガーディアン24
アイアン・フィスト25
能力構築支援・技術交流
トレンド発信
etc.

目次



3月山林火災に伴う 災害派遣活動

長野県上田市 奈良県川上村
岡山県岡山市 愛媛県今治市



部隊等新編

自衛隊海上輸送群
第8地对艦ミサイル連隊
WPS推進室



令和7年度 富士総合火力演習



共同訓練

ダルマ・ガーディアン24
アイアン・フィスト25



能力構築支援・技術交流



ハイレベル交流

ランド・フォーシーズ・ダイアログ

Land Forces Dialogue (LFD)

シニア・リーダーズ・セミナー

Senior Leaders Seminar (SLS)

太平洋地上軍シンポジウム

Land Force Pacific Symposium and Exposition (LANPAC)

令和7年5月11日～5月16日までの間、森下陸幕長は、米国ハワイにおいて、ランド・フォーシーズ・ダイアログ、シニア・リーダーズ・セミナー及び太平洋地上軍シンポジウム (LANPAC) に参加し、日米豪比陸軍種トップ級における懇談、各国参謀総長級の二者懇談等を行いました。

本懇談等を通じて、安全保障環境について認識を共有するとともに、各国軍種間で一層関係を強化することで一致しました。



硫黄島戦没者合同慰霊追悼顕彰式

令和7年3月29日、森下陸幕長は、日米硫黄島戦没者合同慰霊追悼顕彰式に参列し、日米の戦没者に対して哀悼の意を捧げました。



やす子さんへ褒賞状授与

令和7年3月25日、森下陸幕長から、予備自衛官でもある芸人のやす子さんへ、平素から防衛省・陸上自衛隊の広報と防衛基盤の育成に貢献した功績をたたえ、褒賞状を送りました。

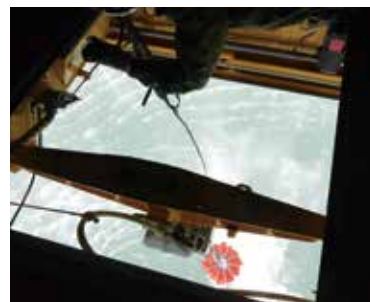


3月山林火災に伴う災害派遣活動

長野県上田市



奈良県川上村





続発する山林火災に対応

陸上自衛隊は、3月、長野・奈良・岡山・愛媛で続発した山林火災に対し、第1ヘリコプター団をはじめとした各地の航空科部隊が空中消火活動等を実施して山林火災の鎮圧に寄与しました。



愛媛県今治市



部隊等新編



自衛隊海上輸送群

令和7年3月24日、呉基地において、自衛隊海上輸送群を新編しました。

4月6日、新編行事が行われ、中谷防衛大臣が出席し、隊旗の授与を行うとともに、所在部隊を視察し、隊員を激励しました。

陸海空自衛隊の共同部隊である自衛隊海上輸送群の新編により、南西地域等へのより迅速かつ確実な機動展開が可能となります。





第8地対艦ミサイル連隊

令和7年3月24日、湯布院駐屯地において、第8地対艦ミサイル連隊を新編しました。

同30日、新編行事が行われ、本田防衛副大臣及び小林政務官が出席し、隊旗の授与を行い、隊員を激励しました。

今回の新編により、7個地対艦ミサイル連隊体制が完成し、自衛隊の抑止力・対処力が一層強化されます。



W P S 推進室

令和7年4月1日、W P S（Women, Peace and Security）推進室を新編しました。

同4日に、新編行事が行われ、ロングボトム駐日英国大使よりW P Sに関するイギリスの取り組みについて講演をいただきました。

本行事には、小林政務官、各国の武官等が参加し、W P S推進の方向性を共有しました。陸上自衛隊は、より一層各国と連携してあらゆる活動へのジェンダー視点の反映を図ります。



令和7年度 富士総合火力演習

FUJI Fire Power Exercise



迫力とスピードの現代戦

現代戦の実相

令和7年6月8日、陸上自衛隊は、東富士演習場において、令和7年度富士総合火力演習を実施しました。この演習は、陸上自衛隊の学生等に対し、現代戦における火力戦闘の実相を教育するために行なっています。

本演習は、昼間と夜間の2種類の演習があり、それぞれ前段と後段にプログラムが分かれています。前段は各種装備品の性能を示すとともに、島嶼部において敵の侵攻を阻止する場を展示しました。後段は島嶼部における攻勢の場を想定して、海路・空路からの強襲上陸から要点確保までの一連の流れを演練しました。



昼間の演習

前 段

各種火砲・迫撃砲の性能及び射撃効果を展示するとともに、「12式地对艦ミサイル能力向上型」等の将来装備品を紹介しました。また、即応機動連隊等が島嶼部において、事前に防御の態勢を取り、敵の侵攻を阻止する場を捉えた演習を実施しました。



後 段

水陸機動連隊による海路・空路からの強襲上陸から要点確保までの火力戦闘を展示し、増強された師団主力である増強普通科連隊による敵第一線地域に対する攻撃から戦果拡張までの火力戦闘を展示しました。



夜間の演習

夜間の演習についても、昼間と同様の流れで前段及び後段の流れで演習を実施しました。

前段は、暗視装置を装着しての行動や、発射する弾薬についても照明弾を活用しての射撃を展示するとともに、後段は、夜間における島嶼防衛の一連の流れを演習しました。





ダルマ・ガーディアン

DHARMA GUARDIAN

24



令和6年度インド陸軍との実動訓練

令和7年2月24日～3月7日までの間、陸上自衛隊は、東富士演習場において、令和6年度インド陸軍との実動訓練（ダルマ・ガーディアン24）を実施しました。

東部方面総監 陸将 富樫勇一

担任官

第1師団
中央即応連隊

実施部隊

本訓練の目的は、対テロ戦に係る作戦遂行能力・戦術技量の向上及び陸自とインド陸軍との相互理解・信頼関係の促進を図るものです。

総合訓練においては、潜伏するテロリストを日インド共同で、搜索から撃滅するまでの行動を演練し、参加隊員は任務を完遂しました。





アイアン・フィスト

IRON FIST

25



令和6年度第3海兵機動展開部隊との共同訓練

令和7年2月19日～3月7日までの間、陸上自衛隊は、九州・沖縄地区において、令和6年度第3海兵機動展開部隊との共同訓練（アイアン・フィスト25）を実施しました。

本訓練の目的は、南西地域における日米共同での水陸両用作戦に係る行動を共同・統合により演練し、相互運用性の向上及び水陸両用作戦能力の向上を図るものです。

今年度は、日米オスプレイによる空中機動及び統合火力誘導等を含む水陸両用作戦に必要な各種行動を日米共同で演練しています。また、日米の海軍種も含めた領域横断的な訓練も実施して、南西地域を含む我が国の防衛体制の強化に努めています。

陸上総隊司令官 陸将 山根寿一

担任官

陸上総隊（水陸機動団、第1ヘリコプター団等）
西部方面隊（西部方面航空隊等）

実施部隊





フィジー

令和7年2月12日～27日の間、衛生学校及び防衛医科大学校の隊員3名は、フィジー共和国において、フィジー軍の衛生部隊要員に対して、P K O派遣に必要な野外衛生能力向上のための教育を実施しました。

今後も陸上自衛隊はフィジー等、太平洋島しょ国への能力構築支援事業を通じて防衛協力を強化してまいります。





音楽（オーストラリア）

令和7年3月10日～12日の間、中央音楽隊は、オーストラリアにおいて、オーストラリア陸軍軍楽隊との演奏交流を実施しました。

12日にはセントアンドリュース大聖堂において日豪共同演奏を実施し、現地の方々から盛大な拍手を頂き、日豪両国の関係強化に寄与することが出来ました。



技術交流



儀じょう（ヨルダン・米空軍）

令和7年4月14日～17日までの間、第302保安警務中隊は、市ヶ谷駐屯地においてヨルダン王室近衛儀じょう隊、同22日には米空軍儀じょう隊の各研修を受け入れ、儀じょうに関する技術や訓練技法などを共有して部隊間交流を行いました。

防衛交流を推進して両国との関係強化に寄与することが出来ました。



3 自衛隊合同コンサート

令和7年3月15日、さいたま市文化センターで陸海空セントラルバンドによる3自衛隊合同コンサートを実施しました。

海上自衛隊の「君が代」から始まり、陸海空それぞれのセントラルバンドが演奏を披露した後、J. マッキー作曲「ワインダーク・シー」を3自衛隊合同の演奏を披露し会場を沸かせました。

音楽隊活動



2025年大阪・関西万博

令和7年4月13日、中央音楽隊、中部方面音楽隊及び第3音楽隊が2025年日本国際博覧会（大阪・関西万博）のテープカットセレモニーで演奏を行いました。

大阪・関西万博オフィシャルテーマソング「この地球（ほし）の続きを」やファンファーレを演奏し、万博の幕開けを盛り上げました。

陸上総隊、方面隊等最先任上級曹長会同

令和7年4月8日～9日の間、防衛省市ヶ谷において、令和7年度陸上総隊、方面隊等最先任上級曹長会同を行いました。会同では、陸幕長訓話、陸自最先任説示、人材育成の取組みと課題についての討議及び陸幕施策説明を行いました。本会同へ80名の最先任が参加し、情報共有、意見交換等により上級曹長業務系統の更なる連携強化を図りました。



諸外国との下士官交流

令和7年3月4日～6日の間、大韓民国において、米第8軍及び大韓民国陸軍との日米韓最先任交流を行いました。



令和7年5月11日～17日の間、米国（ハワイ州）で開催された太平洋地上軍シンポジウム（LANPAC）において、下士官プログラム（意見交換及び部隊研修）の参加及び13カ国との最先任等懇談を行いました。



突撃！タクマくん



～vol.4 『女性・平和・安全保障（WPS）』について～



こんにちは！私は陸GIRLのヌウちゃんだよ♪

4月にW P S（女性・平和・安全保障）推進室が新しくできたね！

陸上自衛隊では、女性(Women)・平和(Peace)・安全保障(Security)を推進していくよ！
新しい知識を取り込んで、意識をアップデートしていこう！



ARMY109号を見ているみんな、こんにちは！陸BOYのタクマくんだよ～

W P S って、最初の文字の女性(Women)が目立つけど女性だけの話じゃなくて、
性別（ジェンダー／Gender）によって紛争や災害等から受ける影響の違いに着目
した取組なんだ！
全員で取り組んでいく課題なんだね～

陸自トレンド最前線！



《WPSって？》



紛争、災害等発生時により脆弱な立場に置かれる女性、女児等は特に保護すべき対象であると認識して保護・救済に取り組みつつ、女性が指導的・主体的に、紛争解決や災害対応のあらゆる段階に参加することで、より持続的な平和が作れるという考え方なんだ！

災害が発生した時は、弱い立場に置かれる人（女性、子ども、高齢者など）をしっかり守って、ケアしないといけないね！

そのためには男性だけでなく、女性が活躍することで、多角的な視点や経験を活かして、より良い活動にしていこう！

WPSを一言で言うと？



全隊員がジェンダー視点を持って活動すること！

なんでWPSが必要なの？

人口の約半数が女性。それに対して自衛隊の約9割が男性隊員だから、守るべき人（女性、子ども、高齢者など）のニーズに応える良い活動をするためには、男女や年齢毎のいろいろな視点（ジェンダー視点）が必要だね！

ジェンダー視点を取り入れれば、組織が多様化されて、より強い組織になるね！

それに同じくジェンダー視点を取り入れている諸外国とも仲良くできるよ！

WPSって何をすればいいの？

まずは自衛隊全隊員がジェンダー視点を取り入れる意識改革が必要だね！

WPSを推進する体制も整備されてるよ！各自衛隊にジェンダー視点を取り入れる人を配置するよ！

実際にジェンダー視点を取り入れた活動もしていないといけないね！

例えば、守るべき人たちの性別・年齢別・病気や障害の有無など特性に合わせて必要な対応を考えていくよ

また、女性自衛官が活動しやすいように装備品のサイズを女性にフィットするように変えたりしているよ

WPSの取組



自衛隊隊員への教育



同志国との連携

装備品サイズの拡充



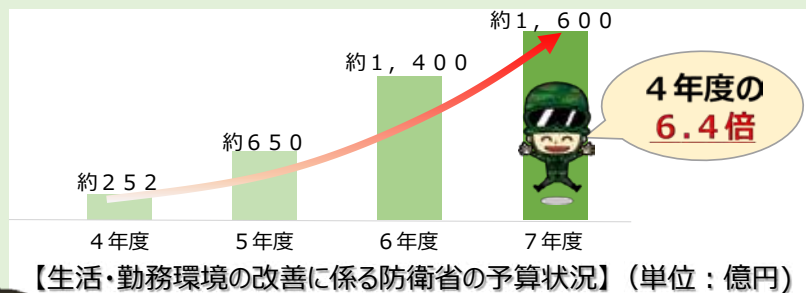
被災者等対応へのジェンダー視点の取り入れ



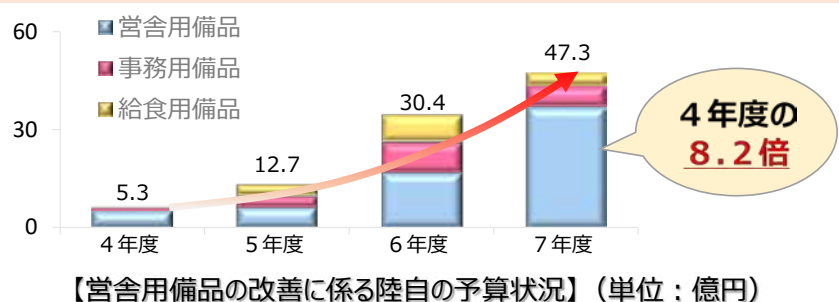
生活・勤務環境の改善・魅力化



自衛隊員が働きやすい環境を作るための取組が本格化しているわね



営内生活を快適にするための予算はこんなに増えてるよ



全駐屯地で令和7年度末までに整備完了予定の営舎用備品

敷きパッド



【接触冷感】

【温感】

暑い時も寒い時も快適☆

両タイプを一人1枚 (計2枚) 交付
(写真はイメージ)

まくら・カバー

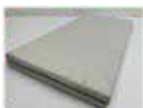


【低反発】

どちらか選べる

【クッション】

マットレス



体圧分散機能向上

一人1個

パーティション



【折りたたみタイプ】 【カーテンタイプ】

プライベート空間を確保

高さ2m基準で、輕易に移動可能なタイプのパーティションを一人1台交付

《～令和9年度末》

家具類・寝具類の換装完了



【机】
(1個/人)



【毛布】
(1枚/人)



【ロッカー】
(1個/人)



【寝台架】
(1個/人)



【電気スタンド】
(1個/人)

仕様を見直して現代的に☆

《～令和10年度末》

家電類の充足



【冷蔵庫】
(1台/室)



【除湿器】
(1個/室)



【掃除機】
(1個/室)



【加湿器】
(1個/室)



【サーキュレーター】
(1個/室)



【電気ケトル】
(1個/室)



【掛時計】
(1個/室)

公共場所にしかなかった備品を居室に！
品目はライフスタイルに合わせて逐次更新！

Seikin総合バンフレット

【令和7年度版 陸自生活パンフ】 New!



陸幕人事教育部のHP上にアップされているよ！



陸上幕僚長による安井予備陸士長に対する 褒賞状授与の実施

陸上自衛隊は、3月25日、テレビ等で大活躍している元自衛官芸人であり、現職の予備自衛官である安井かのん氏（芸名：やす子）に対し、持ち前の明るいキャラクターで陸上自衛隊の広報と防衛基盤の育成に寄与し、防衛省・自衛隊に対する理解促進へ大きく貢献した功績として、陸上幕僚長より褒賞状を授与しました。

安井予備陸士長から「引き続き、国民の皆様役に立てよう頑張ります！」との挨拶があり、予備自衛官として国に貢献しようとする強い意志を表明されていました。

みなさんも自衛隊で培った経験・技能を、退職後も予備自衛官として活かしてみませんか！



家族支援情報

緊急登庁支援について

災害等発生時において、緊急に登庁しなければならない場合に、**預け先のない子どもを駐屯地内の施設において預ける**ことができる制度のことです。いざという時に任務に専念できるよう、共働きや小さなお子様を持つ隊員の皆様は、是非活用ください♪



どれだけの期間預けられるの？

発災後すぐに預けることが可能で、親族等が迎えに来てもらうまでを想定して、**5日程度の期間**預けられます。



誰が何処で面倒見てくれるの？

駐屯地の施設で残留可能な**保育に係る講習等を受けた隊員**が面倒を見てくれるので安心です。**保育士資格を保有する予備自衛官**等も募集しています。



預ける際に準備するものは？

最小限の**着替え**などの他、現行の制度では、お子様に食事を支給できないため、**食べ物**を準備してもらう必要があります。



緊急登庁支援を有効に活用するためには

【ポイント①】 所属部隊を通じて預けたい**お子様を事前に登録**してください。

お子様の疾病やアレルギー、定期的な投薬の必要性や、その要領などについても登録の際に申告して下さい。

【ポイント②】 預けるのに必要なお子様の**最新の情報**について**更新**してください。

異動等に伴う引取り先の親族の変更や、連絡先の変更については、必要な連絡を速やかに行うために確実に更新して下さい。

【ポイント③】 **平素から**ご家族や親族と預けるための**準備や相談**をお願いします。

- 預ける日数分を見越した衣服等の準備
- 食事等を購入できない場合の食料品の備蓄
- 引き取る家族や親族等との相談

SPRING

VOL.109

JGSDF Internal PR Magazine

ARMY

